

2012年1月5日発信

PrintNext2012 運営委員会

委員長 江森 克治
広報部会長 岸 昌洋

報道関係者各位

Print Next 2012 分科会 当日の登録及びコンテンツのご案内

2012年2月4日に開催いたします、Print Next2012の登録のご案内及びコンテンツの概要をお知らせいたします。

当日のご登録に関して、イベント開催時(10時～18時)につきましては一社何名様でもご入場いただけます。懇親会(18時10分～)につきましては、一社一名様までご招待させていただきます。なお、事前の登録は必要ございません。

また、当日のコンテンツ概要を記載いたします。詳しくはオフィシャルサイト (<http://www.printnext.jp/>)にて、ご確認ください。

Print Next 2012 「Act for Japan ～希望の未来へ。insatsuがつなぐ日本の絆～」

■開催概要

日時: 2012年2月4日(土) 午前10:00受付開始

会場: パシフィコ横浜会議センター(横浜市西区)

主催: PrintNext 運営委員会

構成団体: 全国青年印刷人協議会/全国印刷緑友会/日本青年会議所メディア印刷部会/日本グラフィックサービス工業会 SPACE21
/全日本紙器段ボール箱工業組合連合会青年部協議会

協力: 東京青年印刷人協議会/印刷産業青年連絡協議会/神奈川正和会

特別協力: 東京都印刷工業組合/神奈川県印刷工業組合

後援: 経済産業省/全日本印刷工業組合連合会/日本グラフィックサービス工業会/全日本紙器段ボール箱工業組合連合会

(順不同)

■コンテンツ

1. 10時30分～12時: 503大大会議室 「PrintNext2012 パネルディスカッション」

PrintNextは、日本全国から業界の垣根を越え集い、各人がリーダーとしての自覚をさらに深め、これからの業界維新を志す若きリーダー達が集います。今後の我々の成長戦略の中で、時代の変化により人々の価値観が大きく変化している今、「高品質」や「高生産性」など従来のビジネスモデルだけでは企業の存在価値を保ち続ける事は困難であり、様々なサービス活動及び業態変革を行っていかねばなりません。既存の高生産を謳う設備やソフトウェア等の出展という形式ではなく、「印刷業の新たなビジネスモデルとこれからの姿」を我々と共に「insatsuの未来」を創造して頂けるパートナー企業としてご登壇頂き、各社様の「時代の変化に対応する具体的な手法」をパネルディスカッション形式でご紹介頂きます。

【パネラー紹介】

コダック(株) グラフィックコミュニケーション事業部 販売推進部 部長 飯田 厚 氏

キヤノンマーケティングジャパン(株) エリア事業推進本部 プロダクション事業推進課 課長 新井 輝明 氏

日本ヒューレット・パッカード(株) イメージング・プリンティング事業統括デジタルプレスビジネス市場開発部 部長 小池 亮介 氏

富士ゼロックス株式会社 プロダクションサービス営業本部 マーケティング部 部長 杉田 晴紀 氏

(株)モリサワ 東京本社 ユーザサポート部 部長 村辻 博見 氏

リコージャパン(株) プロダクションプリンティング事業本部 PP販売戦略室 室長 石井 晃 氏

コーディネーター：Print Next 2012 広報部会 岸 昌洋

2. 12時30分～13時10分：501+502 大会議室 「式典及び未来の印刷大賞授賞式」

オープニングセレモニー終了後に「未来の印刷大賞」授賞式を行います。

いつも身のまわりで目にする印刷物は、これからどんな風に進化していくのでしょうか？もっとキレイな印刷、もっと便利な印刷、もっと楽しい印刷、走る印刷、空飛ぶ印刷…。小・中学生より募集した「未来の印刷」の「絵部門」と「作文部門」を部門別に審査し、最優秀賞をはじめ受賞作品の発表及び表彰式を行います。

3. 13時10分～16時25分：大会議室 501+502 「基調講演～ワールドカフェ～ソクラテスメソッド」

講師：千葉大学教授 小林 正弥氏

基調講演は、企業の存在価値とは何か。を踏まえ、公共哲学の第一人者でもある千葉大学の小林正弥教授にご講演いただきます。小林教授は、NHKの白熱教室の解説者でも有り、『これからの正義の話をしよう』の執筆者、ハーバード大学のマイケル・サンデル教授とも交流があり、社会公共学の観点から、今後の社会における企業の存在理由を分かりやすく伝えていただきます。

プログラムは、基調講演・ワールドカフェ・ソクラテスメソッドと、3部構成となっております。これは、今までの壇上から一方的に話を聞くといった講演と異なり、私たち自らが考えながら進めていくことで、本当の意味で肚に落とし込んでいくことが出来る設えとなっております。最初の講演では、基本的な考え方を提唱していただき、そもそも企業の価値とは何かといったテーマについてご教授いただき、その後ワールドカフェにて、グループ単位での話し合いを行います。ディスカッションのテーマは基調講演の中で小林教授より提示されます。ここまでが大学で言うところのゼミの部分になります。次にソクラテスメソッドを行います。日本全国から集まる参加者は、誰一人同じ境遇はありません。地域によって、規模によって、抱えている問題や、認識は違うはず、その意見を発信していただきながら、今後我々の産業にとって必要なことってなんだろうか。そして時代の変化を感じ、今後どのようにすべきかの指針を、自らが感じて創出いただくことができる内容となっております。我々が今考えること、今行動すること、今何が出来るのか、そんなことを深く考えるきっかけになるはずです。

4. 16時40分～17時55分：小会議室 411～418 「分科会 1～5」

分科会／企画 1 小会議室 411+412 「技能五輪代表オペレーターはいかにして生まれたか」

パネラー：垂細亜印刷株式会社 代表取締役 藤森 英夫氏、印刷課課長 大塚 成二氏、印刷課 伊東 真規子氏

受注環境の厳しい中、企業における人材育成はますます重要となってきました。そんな中、決して大手とはいえない長野の垂細亜印刷株式会社の伊東真規子さんが、第41回技能五輪国際大会／ロンドン大会(2011年10月4日～9日開催)の日本代表となり、見事、金メダルを受賞しました。印刷機を使いこなすのに長い時間を要するのが当たり前であったこの業界で、入社わずか3年でこの快挙を成し遂げた裏には、本人の努力もさることながら、周りで支える人たちが、会社の姿勢が大きく係わっているのではないのでしょうか。女性のオペレーターがここまでできるのは、何があるのか？垂細亜印刷株式会社の人材育成法とは？

「技能五輪代表オペレーターはいかにして生まれたか」と題し、垂細亜印刷株式会社の会社紹介と、藤森社長、上司である大塚印刷課長、伊東真規子氏によるパネルディスカッションを開催します。

分科会／企画 2 小会議室 413 「日本の絆—地域の小さな絆から—」～地域の絆づくりから活性化・情報発信について私たちが関わるべき役割とは～

パネラー：美濃和紙あかりアート展実行委員会 実行委員長 深和 昌司氏、美濃市観光協会 事務局長 池村 周二氏、株式会社トコロ 専務取締役 中島 孝氏、北浜印刷工業有限公司 取締役専務 山中 武氏

コーディネーター：株式会社岐阜文芸社 代表取締役社長 飯尾賢氏

岐阜県美濃市には1300年以上の歴史を誇る伝統産業の「美濃和紙」があります。この伝統産業の再生と後に重要伝統的建造物群保存地区に指定される「うだつの上がる町並み」の活性化・ブランド化を目的として、平成6年から「美濃和紙あかりアート展」が毎年開催されています。2011年10月で第18回を数え、今では県内外はもちろん海外からも「和紙によるあかりのアート作品」が多く寄せられるようになりました。もちろん開催当日も連日大賑わいで、町のたからものである『美濃和紙』が主役となって地域活性化が行われています。このイベントの企画立案は、地域のボランティアが中心となって組織された実行委員会で行っており、まさに地域の伝統や文化に誇りを持ち、地域を愛する『絆』で繋がれた方たちによる地域のためのイベントとなっています。

この分科会では、「美濃和紙あかりアート展」の現状を美濃市観光協会の池村事務局長及び深和実行委員長様よりご紹介いただきながら、『地域の絆』や『地域活性化』についてご講演いただき、それを基調としてパネリストと共に、今後私たち印刷関連業が地域の絆づくりから活性化・情報発信について、関わるべき役割とはどのようなものかを探っていきます。

分科会／企画3 小会議室 414+415 「顧客ニーズに柔軟に対応する印刷通販。これからの脅威？それともパートナー？」

パネラー：株式会社帆風 犬養 新嗣氏、土山印刷株式会社 土山 雅之氏、ラクス株式会社 松本 恭攝氏

Amazon・楽天といった流通革命が日常的に普及して、ごく当たり前に消費者がWebで買い物をするようになった昨今、印刷業界もこの変化に目を背けられなくなってきました。そんな中、急速に市場規模を拡大し続けている「印刷通販」。特にここ数年の伸びは目覚ましく、サイト数の増加とともに市場規模は現在500億円に達すると見られています。従来、印刷取引はオーダーメイドのため、価格が不透明で、顧客が不信感を抱く要素を多く孕んでいました。そこへ印刷通販が出現し、ネット上で取引が完結し、価格も明朗で、尚且つ従来よりも低価格でのサービスを提供することで、確実にそのシェアを急拡大してきています。印刷会社にとってこれが脅威になるのか、新たなパートナーとなるのかは興味のあるところですが、従来の印刷会社側からすると、顧客への見積りの引き合いとなったり、仕事が通販へと流れたりといったマイナス面ばかりが目立つかもしれませんが、これまで印刷通販が伸びてきた背景には、顧客ニーズに柔軟に対応してきたことを理解する必要があるのです。

そこで、印刷通販関係者の方々を迎え、これからの印刷ビジネスについての展望・印刷業界との関わり方などをお伺いし、共存共栄のための道を探ります。また、そのお話しを聞くことで、「時代の変化」に対する認識を深めていただき、今後の新しい印刷通販会社との関わり方を見つめるきっかけとなり、さらに仕事の流し方を見直すことで、各社の利益拡大へと繋げるためのパネルディスカッションを開催いたします。

分科会／企画4 小会議室 416+417 「インナーブランディング構築セミナー」

講師：博報堂 買物研究所 上級コンサルタント、シブヤ大学講師 高荷 力氏

本セミナーは、「すべての社員がブランド行動を日常化させ、マーケティング活動に積極的に貢献する企業文化の構築」を率先する為に必要な知識の習得を目的とする企画です。

社会情勢

企業に必要な事として、ドロッカーはイノベーションとマーケティングと言われている。30年前から提唱されているにも関わらず、それを実践できる会社は少ない。経済成長に伴い発展してきた日本の経済。それに比例するように、仕事も潤沢にこなしていた時代は終わり、今後生き残る為に必要な“何か”を皆探し始めている。それには時代に合わせたイノベーションが必要であり、そのサイクルも短くなってきている。零細企業の親方会社であれば、親方の采配で何とかなるかもしれないが、組織として自立しなければ、継続したイノベーションは起せない。

その為には、社員はもとより、ステークホルダーにも、理念やビジョンを浸透させる必要がある。それがインナーブランディングである。今まで、高潔な理念を掲げていたとしても、それを行う仕組み自体を考えた事があるだろうか？ その仕組みを考えるのは、誰なのか？ インナーブランディングでは、それは社員やステークホルダーである。つまり押し付けるのではなく、自ら創出させる事が重要でそれによる効果は是非もないとしている。

インナーブランディングにおいて、BIOS (brand input/output system) を開発した、博報堂のシンクタンクである買物研究所の上級コンサルタント、高荷力氏を招いて今、企業に必要なブランディングを講義していただきます。そこでは有名なグッチやシャネルといった、ある意味記号化されたアウトターブランディングではなく、自社を強くする事、それは働く人達が誇りを持ち率先して会社に社会に貢献できるように育てる事が重要です。そして中から外へ滲み出るものがブランドである、それがCSRや存在意義と重なると考えられます。

そのために必要な事は何か？

その部分を徹底的に洗い出し、自社の状況と照らし合わせながら、考えさえる実践的な方法論のセミナーです。即実践できる物として、インナーブランディングの考え方、その実践方法などは今後の企業活動の上で必ず必要になってくると考えられます。今までコーチングやファシリテーションを行ってきたのは何だったのか。それは社員の意識向上を促す為であった筈です。そして、その行ってきた物の集大成がインナーブランディングです。そのインナーブランディングを実践しているコンサルタントであり、博報堂が開発したBIOS (brand input/output system) にも関係がある高荷氏を講師としてお招きいたします。

分科会／企画5 小会議室 418 「印刷メディアは私のキャンパスだ！」～地域メディアが日本を元気にする～

講師：共栄印刷株式会社 代表取締役 堀井 清孝氏

今の印刷業界は受注産業です。しかし今後印刷業界も、新しいアイデア溢れる仕組みを作り、地域を動かし、新たなビジネスチャンスを掴まなくてはなりません。そこで今回、『地域情報は地方でしかわからない』そんな発想から、地域情報誌を発刊、それをきっかけに文化の街『奈良県庁』から広報を企画・提案の依頼を受け、そして今ではソリューションプロバイダーと変革されました、共栄印刷株式会社の堀井清孝氏をお招きして、今までの事例から、アイデアを導き出すヒントを学びます。堀井氏は、美術大学在学中、学園祭の企画運営など自ら行動されてきました。卒業後、そこで学んだ経験を活かし、先輩企業から依頼された企画をアルバイトで手伝ってきました。その後、親の印刷会社（共栄印刷株式会社）に戻り営業と製作の業務を任されました。32歳の頃、自分が作成したデザイン・イラスト・原稿が勝手な理由で修正させられ、訂正

をしている作業に嫌気がさしました。そこで、自分達で好きな、納得行く印刷物を作ろうと思い出来たのが地域情報誌『やまとびと』でした。基本的には広告収入ゼロ、これは共栄印刷株式会社の広告宣伝との位置づけでスタートしました。誌面は地元の人・観光・情報を取材して発行しました。またその頃同時に地域団体が祭実行委員長を受けました。学生時代の経験から祭をリニューアル。その実績から多くの団体、行政から企画の依頼が増えてきました。その実例が奈良県庁に認められ広報の依頼が始まりました。きっかけはもちろん『やまとびと』でした。はじめは自社の広報誌としてスタートした地方情報誌が、大きな印刷ビジネスチャンスをつかんだのです。今では大手広告代理店さんともタックを組んで情報産業として新しいビジネスが出来るようになりました。

今回のセミナーを通して、印刷会社を中心に、地域でできる事は何なのか参加者全員で学びましょう。我々印刷会社は、地域の情報を加工する事で、地域から日本を動かし、日本を元気にする事ができる。それが印刷業界の新たな道を拓くアイデアになるでしょう。

5. 18時15分～20時：303+304 大中会議室 「懇親会」

6. 出発：20時30分～ 「二次会」『みなとみらい屋形船ナイトクルージング』(90分)

懇親会後に神奈川正和会主催で二次会を企画いたします。開催地が横浜と言うことで、『みなとみらい屋形船ナイトクルージング』にてヨコハマの夜景ともに美味しいお酒をご堪能下さい。

場所：みなとみらい21 ぶかり棧橋出発 ※到着も同じです。(懇親会場から乗り場まで誘導員がご案内致します)

会費：8,000円(飲食(飲み放題付き)+コンパニオンあり)

登録方法：二次会は事前登録制になります。Print Next2012登録申込書からの登録をお願いいたします。費用につきましても、Print Next2012登録料と同時にお振込み頂く形になっておりますのでご注意ください。

7. 受付開始～懇親会までの間：501+502(式典・基調講演・ワールドカフェ会場)前フォワイエ 「常設出展ブース」

- ・パートナーズ企業各社展示ブース
- ・「未来の印刷大賞」作品展示

■本件のお問い合わせ

事務局：Print Next 2012運営委員会

〒104-0041 東京都中央区新富1-16-8 TEL.03-3552-4571 担当：小池(全日本印刷工業組合連合会)